

「お山ん画」が 「お山ん画」執筆関係者が

岩手の林業の取材で来県



1 はじめに

去る7月18日から19日にかけて、林野庁のホームページ等に「お山ん画（おやまが）」を掲載している林野図書資料館の板垣館長と執筆担当の平田係長が来県しました。本年10月に遠野市で全国ワサビ品評会が開催されることから、ワサビのイラスト執筆に係る取材が主な目的です。また、この漫画は、いわて林業アカデミーの授業で使用していることから、漫画の内容についてアカデミー研修生と意見交換を行いました。

2 「お山ん画」とは

林野庁が日本の森林・林業・木材産業について、より多くの方々に興味をもってもらい、併せて日本の林業とそれに従事する人を応援していくことを目的に、筆者の体験等をもとに作成された漫画です。情報誌「林野」で連載されており、ホームページで閲覧ができます。

3 これまでの利用について

「お山ん画」は、農林水産省消費者の部屋、日比谷図書文化館（東京都）、国連大学（東京都）、国際ウツドフェア（長野市）等で関係機関と連携して展示されました。なお、いわて林業アカデミーでは、木炭生産、原木シイタケ生産、獣害対策等の授業で使用したところです。また、宮古市では七月に開催された中学生の林業体験学習で、また、久慈市では小学生の木工教室で使用されました。

4 取材及び意見交換概要

18日には遠野市のワサビ生産現場の取材とアカデミー研修生との意見交換、19日には釜石地方森林組合の森林・林業普及啓発に係る取組と、本年度全国林業経営推奨行事で農林水産大臣賞を受賞した早池峰椎茸分取造林組合の取材を行いました。ワサビについては、生産者から、寒冷地ならではのハウスを利用した栽培方法を聞き取りしていました。



「お山ん画」で森林・林業をわかりやすく普及するため、アカデミー研修生と意見交換

アカデミー研修生からは、漫画を読んだ感想や今後取り上げてほしい題材などを聞き取り、漫画の効果的な使い方について意見交換しました。

翌日は、林業スクールや地域材活用などの取組で全国的に有名な釜石地方森林組合を訪問し、久保組合長

等から林業の普及啓発事業等の取組経緯や地域材を活用した椅子製作等の詳細を聞いていました。



久保釜石地方森林組合長と高橋参事から取組状況について取材

取材の最後は、早池峰椎茸分取造林組合を訪問し、江川組合長から、今回受賞した椎茸原木安定供給の取組や地域おこし活動の内容を熱心に聞き取っていました。

5 おわりに

今回は、遠野・釜石地区が主な取材地でしたが、今後は、県内各地の森林・林業について漫画の題材を提供し、全国展開できるよう関係者に働きかけたいと思います。

林業技術センター普及班

019(698) 1337